

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、泌尿器科では、浜松医科大学泌尿器科学講座が実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【共同研究課題名】 転移性腎細胞がん患者を対象としたI-0 based combination therapy後のTKI治療の有効性と安全性に関する多施設共同後方視的観察研究

【研究代表機関及び研究代表者】

研究代表機関・研究代表者：浜松医科大学 泌尿器科学講座 教授 三宅 秀明
本研究に関する問い合わせ先：浜松医科大学泌尿器科学講座 助教 松下 雄登
電話：053-435-2306（応対可能時間：平日9時～16時）

【利用・提供の対象となる方】

転移性腎細胞がんの一次治療として免疫チェックポイント阻害薬（イピリマブ+ニボルマブ、ペンブロリズマブ+アキシチニブ、アベルマブ+アキシチニブ、ニボルマブ+カボザンチニブのいずれか）の治療を受け、さらに2018年8月1日～2021年1月31日に二次治療としてチロシンキナーゼ阻害薬（スニチニブ、パゾパニブ、アキシチニブ、カボザンチニブ、ソラフェニブのいずれか）の治療を受けられた方。

【利用・提供している診療情報等の項目】

診療情報等：診断名、年齢、性別、生年月、病歴、治療歴、治療効果、既往歴、併存疾患名、喫煙歴、診断日、治療開始日、死亡、副作用等の発生状況、検査結果（血液検査、画像検査、病理診断結果等）等

【利用・提供の目的】（遺伝子解析研究：無）

転移性腎細胞がんの一次治療と二次治療には複数の選択肢があります。どの一次治療を受けた場合に、どの二次治療を行うのが最適であるかどうか、あるいはどのような特徴を持つ腎細胞がんに対してどの治療が有効であるかについては、不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、最適な二次治療薬が何かを明らかにすることを目的とします。

【主な共同研究機関及び研究責任者】

1. 北海道大学病院泌尿器科 講師 大澤崇宏
2. 弘前大学大学院医学研究科泌尿器科学講座 教授 大山力
3. 東北大学病院 泌尿器科学分野 教授 伊藤明宏
4. 秋田大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座 講師 沼倉一幸

【研究実施期間および主な提供方法】

期間：倫理審査委員会承認後より2024年4月30日までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

【この研究での診療情報等の取扱い】

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

【東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：泌尿器科 教授 高木 敏男

研究内容の問い合わせ担当者：泌尿器科 石山 亮

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）